



## 2021年度福祉セミナーが開催されました

福祉セミナーは、神奈川県労働者福祉協議会と神奈川県生活協同組合連合会の共催で毎年開催しています。昨年に続き、今年の福祉セミナーも新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインで開催しました。

生協が地域福祉に一層貢献していくためには今後の社会保障制度の方向性など、福祉事業を取り巻く環境の変化を正しく理解することと、介護のもつ力を発揮するための知識を身に付けることが大切です。今回の学習会では馬袋秀男さんを講師に、「次期介護保険制度改正、報酬改定の方向性について」2021年度介護報酬改定項目の流れ、政策動向などをお話いただきました。



- 日 時 / 2022年2月19日(土) 13:30~15:50
- 学習テーマ / 次期介護保険制度改正、報酬改定の方向性について
- 講 師 / 株式会社グッド・シェパード代表取締役 馬袋 秀男さん
- 開催方法 / 株オンライン開催
- 司 会 / 川澄 弥恵さん(生活クラブ生協神奈川)
- 主催者挨拶 / 神奈川県生協連代表理事専務 庭野 文雄
- 閉会挨拶 / 神奈川県生協連福祉事業連絡会座長 鈴木 忠さん(ユーコープ)



### [アンケートに寄せられた感想 (一部ご紹介)]

- ・ 資料がとてもわかりやすく、講師が話す内容についていけました。資料をじっくりとみて復習してみたいと思います。
- ・ 2024年4月の介護報酬改定にむけた流れとポイントを整理することができました。また具体化は難しいが自生協での課題も認識できました。
- ・ 時間内に説明いただくにはかなり内容が多いので、端的にご説明いただき理解できました。
- ・ 介護保険事業小規模多機能サービスの働き方の難しさを感じているところですが、今日のお話で気づくことがいくつもあり、少しでもチームで消化できたらいいなと思いました。
- ・ 事前に資料を提供いただけたので読み込むことができました。
- ・ 福祉事業分野の専門職ではなく、活動の側面から福祉について理解を深めるため参加しました。大変ボリュームは多かったですが、経緯やポイントがしっかりと示され、どうしてそうなのか、どうしていったらよいのかということがわかりました。地域包括ケアシステムを進める中で生協の役割が重要であることも腑に落ち、次年度の自部署の行動計画に大きなヒントをいただきました。

# 2022年神奈川県消費者のつどいを開催

～コロナ禍で明らかになった医療・保健体制の問題点と今後の課題～

「医療崩壊はなぜ起こったのか」

神奈川県消費者のつどいは、1974年以来、県内消費者の学びの場、交流の場、発信の場として開催してきました。今年は昨年に引き続きオンラインを活用し、「医療崩壊はなぜ起こったのか」を全体会のテーマとして開催しました。今後も新しい感染症が発生することが確実だと言われている中、「医療崩壊」がなぜ起こったのか、どう備えたらいいのかを一緒に考え、安心してらせる地域社会をつくっていくことを目的に、鹿児島大学の伊藤周平先生から講演をいただき、意見交換を行いました。

- 日時／2022年3月3日(木) 10:00～15:15
- 開催方法／オンライン(zoom使用)と実参加の併用で開催
- 主催／2022年消費者のつどい実行委員会(山崎初美実行委員長)
- 参加者／190名(全体会、オンライン・実参加の合計)
- 内容／

## ■ 全体会

司会 渡邊 敬弓さん(ユーコープ)  
 実行委員長挨拶 山崎 初美さん(コンシューマーズかながわ)  
 来賓挨拶 関根 真琴さん(神奈川県くらし安全防災局消費生活課課長)  
 講演 伊藤 周平さん(鹿児島大学教授)



## ■ 第1分科会

テーマ 「コロナ禍における保健所の状況と課題」  
 報告 田中 美穂さん(横浜市従労働組合)  
 石原 昭彦さん(横浜市従労働組合)



## ■ 第2分科会

テーマ 「知って安心! 広告を見る目を養おう～通販被害に遭わない知恵を学びます～」  
 報告 井尻 靖彦さん(公益社団法人 日本広告審査機構 事務局次長)



全体会講師  
伊藤周平さん

## ■ 実行委員会団体(12団体)／

神奈川県建設労働組合連合会主婦協議会、神奈川県公団住宅自治会協議会、神奈川県母親大会連絡会、コンシューマーズかながわ、新日本婦人の会神奈川県本部、生活協同組合ユーコープかながわ県本部、生活協同組合パルシステム神奈川、NPO法人消費者支援かながわ、NPO法人神奈川県消費者の会連絡会、ワーカーズコープセンター事業団神奈川事業本部、神奈川県生活協同組合連合会、神奈川県消費者団体連絡会

## ■ 後援／

神奈川県、横浜市経済局、川崎市、相模原市

## 「食品表示と食の安全を考える学習会」を開催

神奈川県生協連と神奈川県消団連では、食の安全・安心にかかわる県の計画づくりに消費者の意見を反映させることを目的に、毎年学習会を開催しています。

今回の学習会は二部構成とし、第一部では、「知っておきたい新たな食品表示と食の安全」をテーマに、森田先生よりご講演いただきました。消費者が適正な食品の選択をするための大切な情報源である食品表示の基本とあわせて、現在問題となっている遺伝子組換え食品や機能性表示食品、添加物の表示などについてもお話しをいただきました。

第二部は、神奈川県の担当職員より、「かながわの食の安全・安心」をテーマに、「食の安全・安心行動計画案」と「神奈川県食品衛生監視指導計画案」についてお話しをいただき、意見交換を行いました。

■ 日時／2022年2月10日 13:00～14:40 ■ 参加者／20人

■ 内容／第一部 「知っておきたい新たな食品表示と食の安全」  
 森田満樹さん(消費生活コンサルタント 東京海洋大学非常勤講師)  
 第二部 「令和4年度かながわ食の安全・安心行動計画」(案)  
 ・「令和4年度神奈川県食品衛生監視指導計画」(案)  
 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課食品衛生グループ 植村知子技幹

## 川崎市と大規模災害に関する懇談を開催

大規模な災害が起きた際、市民生活の一刻も早い生活の安定のために社会インフラとして食を供給する生協の役割は大きく、官民の連携した取り組みが重要になります。川崎市と神奈川県生協連大規模災害対策委員会では、平時から情報の共有や認識の一致を図っておくことを目的に、年一回大規模災害に関する懇談を行っています。新型コロナウイルス感染によるまん延防止等重点措置の発出された期間ではありましたが、感染対策を十分にとった上でリアル開催で意見交換がされました。

■ 日時／2022年1月27日(木) 15:00～16:00

■ 会場／川崎市産業振興会館 12階 経済労働局会議室  
 [川崎市]総務企画局危機管理室 柿森篤実企画調整担当課長、森真二計画調整担当課長、角野聡運用・地域調整担当課長、永岡敦司初動対策担当課長、経済労働局産業政策部消費者行政センター 勝盛紀善室長、前田千寿佳啓発係長  
 [生協]大規模災害対策委員会委員 五月女博之(ユーコープ)、内藤努(パルシステム神奈川)、庭野文雄・相田祐二(神奈川県生協連)、川崎市生協運営協議会委員 野村美湖(かわさき生活クラブ)、杉山匡邦(パルシステム神奈川)



## 2021 健康チャレンジ報告会開催しました。

2021年10月～11月の2か月間取り組んだ健康チャレンジ。 2022年3月7日(月)、8生協から17名が参加されオンラインで報告会を開催しました。

2021年度の健康チャレンジは「健康づくりで生き生きライフ」をテーマに掲げ、新型コロナ感染拡大の収束が見えない中、収束したらどんなことをしたいか、それに向けて健康チャレンジに前向きに参加いただけるようチャレンジシートを工夫し取り組みました。

参加生協では、チャレンジシート配布したかたを名簿化し取り組みを呼びかけたり、参加賞や個人賞、団体賞を設け参加のきっかけづくりを取り組んだり、健康チャレンジ内容より食習慣「よく噛む」をテーマにWEBを活用した独自の取り組みを行ったり健康チャレンジの取り組みが広がっています。「健康」はすべての人の願いです。健康づくりのきっかけの一つとして健康チャレンジが多くの方に参加いただけるよう継続して取り組んでいきます。



年に1回は健康診断を受けて、健康長寿を目指しましょう。

### 全体結果

◇健康チャレンジ参加数 4,641名 (昨年4,211名)

◇参加生協 13生協、3団体

医療生協かながわ、神奈川北央医療生協、神奈川みなみ医療生協、川崎医療生協、福祉クラブ生協、神奈川高齢者生協、うらがCO-OP、ナチュラルコープヨコハマ、パルシステム神奈川、ユーコープ、全日本海員生協、富士フィルム生協、やまゆり生協、神奈川県協同組合連絡協議会、ワーカーズコープセンター事業団神奈川事業本部、企業組合ワーカーズコープ・キュービック、事務局：神奈川県生協連

#### ◇コロナが収束したらどんなことをしたいか

全体の45%の方が「旅行(国内外)・観光がしたい」と一番多く、続いて「外食(会食)やお茶飲みしたい」、「友人に会いたい(おしゃべりしたい)」、「家族、親族に会いたい。実家に帰りたい」と外での人と人とのつながりを求める声が多くなっています。

#### ◇健康チャレンジ参加回数について

全体の31%の方が初めて参加されています。健康チャレンジを通じて生協の取り組みを知っていただく機会にもなっています。

#### ◇健康チャレンジに取り組んで効果があったか

全体の50%の方から効果があったと回答されています。効果ないと回答した方は全体の3%弱となっています。チャレンジすることで効果が生まれています。



## 2021年度 監事研修会を開催

3月8日(火)、県内の生協の監事・監事スタッフを対象に監事研修会を13生協から31名が参加しオンラインで開催しました。今年度の研修会の内容は、監事の皆さんからの事前アンケートより「監事監査の基本と期末監査のポイント」について研修することになりました。



■ 日 時 / 2022年3月8日(火) 14:00~16:00

■ 開催方法 / オンライン開催 (zoom使用)

※ 講義内容は神奈川県生協連のホームページで視聴できます。

■ 参加者 / 13生協より31名

生活クラブ生協・神奈川、横浜北生活クラブ生協、横浜みなみ生活クラブ生協、かわさき生活クラブ生協、湘南生活クラブ生協、さがみ生活クラブ生協、やまゆり生協、神奈川高齢者生協、パルシステム神奈川、ユーコープ、ナチュラルコープヨコハマ、東都生協、川崎医療生協 事務局：神奈川県生協連

■ 研修テーマ / 「監事監査の基本と期末監査のポイント」

講師 井藤康治さん(日本生活協同組合連合会 法務部)

■ 質疑応答 / 意見交換 (コロナ禍の監事監査活動について)

## おしらせ 消費税ネット学習会のご案内

「社会保障にあてる」という理由で、1989年に消費税は導入されました。その後も「社会保障の安定化と充実のために用いる」からと消費税率はアップしてきました。

消費税は社会保障のためって本当なんですか？そして社会保障を充実するには、もっと消費税率を上げないといけませんか？ 私たちの暮らしに直結するこのテーマについて、ご専門の唐鎌先生にお話をうかがいます。



テーマ 「消費税は社会保障のためって本当？」

★ 講師 / 唐鎌 直義 (佐久大学特任教授)

★ 日 時 / 4月16日(土) 17:00~18:30

★ 開催方法 / オンライン (zoom使用) 開催

★ お申し込み方法 / 右記のQRコードもしくは県生協連のホームページから。



## 健康づくりリーダー フォローアップ研修会を開催

2月9日(水)、健康づくりリーダー養成講座修了者を対象にフォローアップ研修会が5生協から24名参加しオンラインで開催されました。前半は、東京都健康長寿医療センター研究所の鈴木宏幸先生に「コロナ禍、ストレスについて理解を深める」講演を行い、後半は、健康チェックのフィードバックについてロールプレイングを行いました。また、参加生協の健康チェック活動について報告いただき交流を深めました。

■ 日 時 / 2022年2月9日(水) 14:00~16:00

■ 会 場 / オンライン開催

■ 参加者 / 5生協24名

福祉クラブ生協、パルシステム神奈川、富士フィルム生協、ユーコープ、医療生協かながわ

## 2021年度 第5回 理事会報告

■ 日 時 / 2022年1月18日(火) 14:00~15:15

■ 会 場 / 生活協同組合パルシステム神奈川 会議室

### 〔議決事項〕

1. 2022年度神奈川県生協連年間日程について
2. 神奈川県生協連第71回通常総会の開催について
3. 神奈川県生協連2022年度予算編成方針と審議の進め方について

### 〔協議事項〕

1. 2021年度活動のまとめと次年度方針(骨子案)
2. 県政要望の取り組みの進め方について

議決事項について全員異議なく可決承認されました。